

## 参 考 资 料

**新たな併設型中高一貫教育の実施  
- 園部高校 -**

平成18年度に府中部地域の広い範囲から通学が可能な伝統ある園部高校に中学校を併設し、中高一貫教育を実施します。地域の人材育成を進めるとともに、先進的な教育課程・教育方法を研究・実践し、その成果を他の公立中学校に普及する取組を行います。

**1 教育目標**

生徒の個性・学力を伸ばし、人間性をはぐくみ、志高く創造性に富んだ未来社会の形成者を育成する。

教育コンセプト  
**大志・知・創造**

- ・大きく高い志をもって自己実現を目指す人間の育成
- ・「知」の世紀をリードする高い知性と創造性に富んだ人間の育成

**2 教育の特色**

中・高の指導内容を入れ替えたり校種間で相互に移行させる。  
特色ある教育内容・教育方法を積極的に導入し、教育目標を達成する。

教育コンセプト	内 容	
大 志 「学びと未来」	学 び	課題解決型の学習により生徒の「学ぶ力」を高める。
	未 来	学習と社会とのつながりを体験的に学び、進路意識を高め、自己実現を図る力を身に付ける。
知 ・ 創造 「クリエーション CREATION」	理 数 リサーチ	大学や最先端研究所での実習や科学的原理・法則の証明研究に取り組むなど、自然界に対する理解を深め、科学的な思考力を培う。
	国 語 力	古典作品等の学習を通じて、知性や感性を磨き、論理的思考力や表現力を養う。

**教育活動の展開**

少人数講座、外部講師の活用、大学・企業・研究所での研修、海外姉妹校との交流、TOEIC・英検の活用 など

**3 通学区域・募集定員**

府内全域（京都市を除く。）・1学年40人（予定）  
募集定員については、各年度、別に定めます。

**4 入学者決定方法**

面接、適性をみる検査、調査書等を用いて、総合的に入学者の決定を行います。

**時代を拓く新しい自然科学系専門学科の設置  
- 桃山高校、南陽高校、亀岡高校、西舞鶴高校 -**

21世紀は高度な知識や情報をもとに、いかに価値あるものを創造できるかが問われる時代です。我が国が将来も科学技術創造立国として繁栄していくためには、最先端の科学技術の開発に携わり、地球規模の環境問題やエネルギー問題など人類が直面する様々な課題にも挑戦する創造性豊かな人材の育成が求められています。

平成18年度、理数教育に特化した自然科学系の専門学科を京都市域、山城地域、口丹地域及び中丹地域の府立高校各1校に設置します。

### 1 自然科学系専門学科の特色

進路意識を育て学習意欲を高める指導を重視

知的発見・知的体験を通じて自然と科学への興味・関心を高め、社会とのつながりの中で、学ぶ目的を明確化させることを重視する。生徒の個性を見つめ進路意識をかん養し、希望進路の実現を図る。

自然科学系スペシャリストとしての基盤を養成

幅広い豊かな教養を身に付けながら、科学的・数学的思考力を備えた次代の科学技術を担う創造性豊かな人材を育成する。

### 2 設置する高校・学科

高校	学科名(仮称)	教育コンセプト	学級数
桃山高校	自然科学科	「新たな知」を創造する人材の育成	2学級程度
南陽高校	サイエンスリサーチ科	進取の気風に富む人材の育成	1学級程度
亀岡高校	数理科学科	時代を拓く感性と創造力の育成	1学級程度
西舞鶴高校	理数探究科	新時代の科学技術の担い手の育成	1学級程度

募集定員については、各年度、別に定めます。

特色あるカリキュラムの開発や、高大連携の推進などを行うため、「京都府グローバルサイエンスハイスクール」として指定し、研究に取り組みます。

### 3 通学区域及び選抜方法

	通学区域	選抜方法	一般選抜の選抜方法
各高校の専門学科	府内全域	一般選抜及び推薦入学 (適性検査実施)	単独選抜

**普通科総合選択制の導入と商業に関する学科の改編**  
- 大 江 高 校 -

平成18年度大江高校に、生徒の興味・関心を高める特色あるコースを設定する普通科総合選択制を導入します。また、ソフト経済科をビジネス科学科（仮称）に改編し、ビジネスと情報に関する知識と技術を基盤として、IT時代における経営企画や起業に主体的に参画する能力と態度の育成を図る新しい時代の商業教育を展開します。

平成17年度			導入・改編後		
普通科第類	文系	1学級	普通科総合選択制	数理科学コース	2学級程度
	理系			社会科学コース	
普通科第類	文理系	1学級		言語科学コース	
ソフト経済科		1学級	ビジネス科学科（仮称）	経営プランナーコース	1学級程度
				ITエンジニアコース	
				マルチメディアクリエイターコース	

募集定員については、各年度、別に定めます。

**1 改編理由**

多様な希望進路に対応するコースを設けた特色ある学校に転換し、広域の通学区域を設定することにより、府中北部の高校教育の選択肢の拡大を図る。

**2 通学区域及び選抜方法**

	通学区域	選抜方法
普通科総合選択制 ビジネス科学科(仮称)	口丹、中丹及び丹後通学圏	一般選抜及び推薦入学

**3 普通科総合選択制のコース及びビジネス科学科（仮称）のコースの内容**

学科名	コース名	内 容
普通科総合選択制	数理科学	理数科目を多く設定し、自然科学に対する関心を高め、数学的思考力や科学的探究能力を育成します。
	社会科学	基礎基本を重視した普通科目を設定し、地域と連携した体験的な学習を通して個性と創造性を育成します。
	言語科学	英語の授業を多く設定し、英語力を高め、異文化理解を深め、豊かな国際性とコミュニケーション能力を育成します。
ビジネス科学科(仮称)	経営プランナー	企業経営やマーケティングに関する知識と技術を学び、新たなビジネスを創造する力を育成します。
	ITエンジニア	コンピュータのプログラミングやネットワークに関する知識と技術を学び、情報技術力を育成します。
	マルチメディアクリエイター	ビジュアルデザインやマルチメディアに関する知識と技術などを学び、IT時代のクリエイターを育成します。

口丹、中丹及び丹後地域の選抜制度の改善

普通科第 類及び第 類で前期特色選抜を実施し、受験機会の複数化と評価尺度の多元化を図ります。同時に、口丹、中丹及び丹後通学圏のどの高校でも志願できるようにして、より多くの高校の中から学びたい学校を自ら選択できるようにします。

また、普通科第 類と第 類の通学区域の弾力化を図り、一人一人の希望に応じた高校選択の範囲を広げます。

項 目	内 容																								
<p>前期特色選抜</p> <p>推薦入試と 同時期実施</p>	<p>特別活動・部活動など、高校の特色に応じた生徒を募集 普通科第 類、第 類において募集定員の10%以内を募集 自己申告書、面接、作文及び中学校長からの報告書等による 選抜</p> <p>口丹通学圏、中丹通学圏及び丹後通学圏内の普通科（類・類 型制）を置くどの高校でも志願可能</p> <p>従来の特別活動・部活動に関連する入学校希望は廃止します。</p>																								
<p>通学区域の弾力化</p>	<p>普通科第 類の他通学区域から入学できる割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通学圏</th> <th>現 行</th> <th>改 善</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口丹</td> <td>10%まで可</td> <td>(現行どおり)</td> </tr> <tr> <td>中丹</td> <td>20%まで可</td> <td>30%まで可</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>20%まで可</td> <td>30%まで可</td> </tr> </tbody> </table> <p>普通科第 類の他通学区域から入学できる割合</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>通学圏</th> <th>現 行</th> <th>改 善</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>口丹</td> <td>50%まで可</td> <td>(現行どおり)</td> </tr> <tr> <td>中丹</td> <td>50%まで可</td> <td>100%まで可</td> </tr> <tr> <td>丹後</td> <td>100%まで可</td> <td>(現行どおり)</td> </tr> </tbody> </table> <p>表の数値は、各高校の学区の外からの受入れ枠を示します。 「改善」欄の数値のうち、通学圏外からの受入れ可能枠の大きさは、それぞれ10%まで（前期特色選抜分）です。</p>	通学圏	現 行	改 善	口丹	10%まで可	(現行どおり)	中丹	20%まで可	30%まで可	丹後	20%まで可	30%まで可	通学圏	現 行	改 善	口丹	50%まで可	(現行どおり)	中丹	50%まで可	100%まで可	丹後	100%まで可	(現行どおり)
通学圏	現 行	改 善																							
口丹	10%まで可	(現行どおり)																							
中丹	20%まで可	30%まで可																							
丹後	20%まで可	30%まで可																							
通学圏	現 行	改 善																							
口丹	50%まで可	(現行どおり)																							
中丹	50%まで可	100%まで可																							
丹後	100%まで可	(現行どおり)																							

《主体的な選択ができる入学者選抜制度への改善》

**不登校等による長期欠席生徒に係る  
「特別入学者選抜」を実施**

多様な志願者に対して様々に配慮した特別選抜を充実する一環として、平成18年度選抜から、不登校等による長期欠席生徒に係る、報告書の評定を選抜資料として用いない「特別入学者選抜」を実施します。

項 目	内 容																
目 的	高校で学ぶ能力や意欲があるにもかかわらず、中学校在学中に不登校等の理由により、長期に欠席した生徒が、報告書の評定上、著しく不利となっている場合があることに鑑み、特別に中学校の評定を資料として用いない選抜も受検できるようにする。																
出願の資格	中学校での欠席日数が、いずれかの学年で、年間30日以上ある生徒																
選抜の方法	実施時期 2月上旬 入学者の選抜 学力検査、面接及び作文を実施し、総合的に決定 詳細は、各年度の選抜要項において定めます。																
実施校・募集人員	<p style="text-align: center;">実施高校・学科等</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">高校</th> <th style="text-align: center;">課程</th> <th style="text-align: center;">学科</th> <th style="text-align: center;">募集人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">朱雀高校</td> <td style="text-align: center;">全日制</td> <td style="text-align: center;">普通科</td> <td style="text-align: center;">若干名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">城陽高校</td> <td style="text-align: center;">全日制</td> <td style="text-align: center;">普通科</td> <td style="text-align: center;">若干名</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">西舞鶴高校</td> <td style="text-align: center;">全日制</td> <td style="text-align: center;">普通科</td> <td style="text-align: center;">若干名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">通学区域      府内全域</p>	高校	課程	学科	募集人員	朱雀高校	全日制	普通科	若干名	城陽高校	全日制	普通科	若干名	西舞鶴高校	全日制	普通科	若干名
高校	課程	学科	募集人員														
朱雀高校	全日制	普通科	若干名														
城陽高校	全日制	普通科	若干名														
西舞鶴高校	全日制	普通科	若干名														

～ 未来デザイン・応援プラン ～

特色ある府立高校づくりをめざしています。



京都府教育庁指導部高校改革推進室

*KYOTO PREFECTURAL BOARD of EDUCATION  
HIGH SCHOOL EDUCATION REFORM PROMOTION OFFICE*

〒602 - 8570

京都府京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町

電話 075 - 414 - 5853

Fax 075 - 414 - 5698

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kaikaku/>